

報道関係各位

特定非営利活動法人 たすけあいの会 ふれあいネットまつど

代表 島田 喜七

担当:事務局長 奥田義人

〒270-0003 千葉県松戸市東平賀7番地の2

TEL:047-346-2052 E-mail:fnm2011@r4.di0n.ne.jp

東日本大震災被災者支援ボランティア 仮設住宅でのオープンカフェ「パラソル喫茶」開催活動の紹介

■ はじめに

本会が現在取り組んでいる「東日本大震災支援ボランティア活動」について、以下ご案内申し上げます。国民的課題であるこの東日本大震災支援ボランティア活動について、より多くの市民のみなさんが関心を持ち、活動に参加することを願い、取材・報道をお願いいたく存じます。

■ 経緯・目的

- (1) 本会が参加する「東日本大震災復興 NPO 支援・全国プロジェクト」より、宮城県東松島市での支援活動への参加要請がありました。
- (2) 今求められている支援活動のうち、本会のような草の根の「困ったときはお互いさま」のたすけあいの会ができる活動は何かを模索する中、阪神淡路大震災時の孤独死防止支援活動の事例に学び、避難所・仮設住宅での被災者の「孤立化防止」「地域コミュニティの再生」の場として、オープンカフェ「パラソル喫茶」の開設活動を行うこととしました。

■ オープンカフェ「パラソル喫茶」開催活動

- (1) 毎月1回、仮設住宅の空き地にテント・パラソルを立て、テーブル・イスを配置して、即席のオープンカフェ「パラソル喫茶」を開設。
- (2) 仮設住宅の居住者には事前に開催案内のチラシを配布。開催時には、仮設居住者のみなさんが三々五々来店、メニュー(コーヒー・お茶・紅茶・菓子等)の中から好きなものを注文する。
- (3) ボランティアは、飲食を提供する活動を行いながら、被災者のみなさんの話に耳を傾け、被災者同士のコミュニケーションの輪の中に入る。仮設居住者は、集会所も整備されていなく、ともしれば閉じこもりがちになる生活のため、居住者同士の交流の場を求めて、話に花が咲き、住民同士のつながり、コミュニティ形成の場となっている。
- (4) 飲食は無料にしているので、材料代・器材代などは全て、本会支援活動に寄せられた「支援金」(カンパ)によって賄っている(移動交通費は参加ボランティア自己負担)。

■ 活動実績と今後の取り組み

(1) 実績

* 被災者

No.	開催日時	開催場所	来店者	ボランティア
第1回	5月1日(日)	宮城県東松島市小野市民センター(避難所)	200人	20人
第2回	6月5日(日)	① 同センター ② 同市ひびき工業団地仮設住宅	300人	30人
第3回	7月3日(日)	① 同仮設住宅A地区 ② 同仮設住宅B地区	300人	50人

(2) 今後(予定)

第4回	8月7日(日)	宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅2か所	-	60人予定
ボランティア募集説明会	8月24日(水)	松戸市女性センター研修室		定員30人
第5回	9月4日(日)	宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅2か所	-	-

■ 参考資料

- (1) 本会プロフィール
- (2) 「希望通信」(東日本大震災支援のための本会ニュース)
- (3) 8/24 ボランティア説明会案内チラシ